

御報告事項について

目次

- (1) 本年度ご説明・ご議論いただく事項について 3
- (2) 感染症共同研究拠点研究棟建設工事の状況について 4
- (3) 令和2年度「長崎大学のBSL4施設を中核とする感染症研究拠点の
形成に係る経費」の実績について 7
- (4) 第9回長崎大学高度安全実験施設に係る監理委員会について 9

地域連絡協議会において本年度に
ご説明・ご議論いただく事項

地域連絡協議会において、本年度に本学からご説明し、また委員の皆様にご議論いただく事項としては、現時点で以下の通り予定しております。

その際には、本学からできる限り具体的な情報を提供した上で、ご理解・ご議論をいただき、そうしたご議論の結果については、本学の計画に反映させてまいります。

本年度に主にご説明・ご議論いただく事項（予定）

- ・安全管理に向けた施設運用に関する事項
- ・感染症共同研究拠点における研究の内容等
- ・その他

BSL-4施設をサポートする研究棟の着工

研究棟：BSL-4病原体を扱わない施設

・ BSL-4施設の利用をより安全かつ効率的に行えるよう、教育・研究活動及びBSL-4施設管理運営業務を行うための施設。

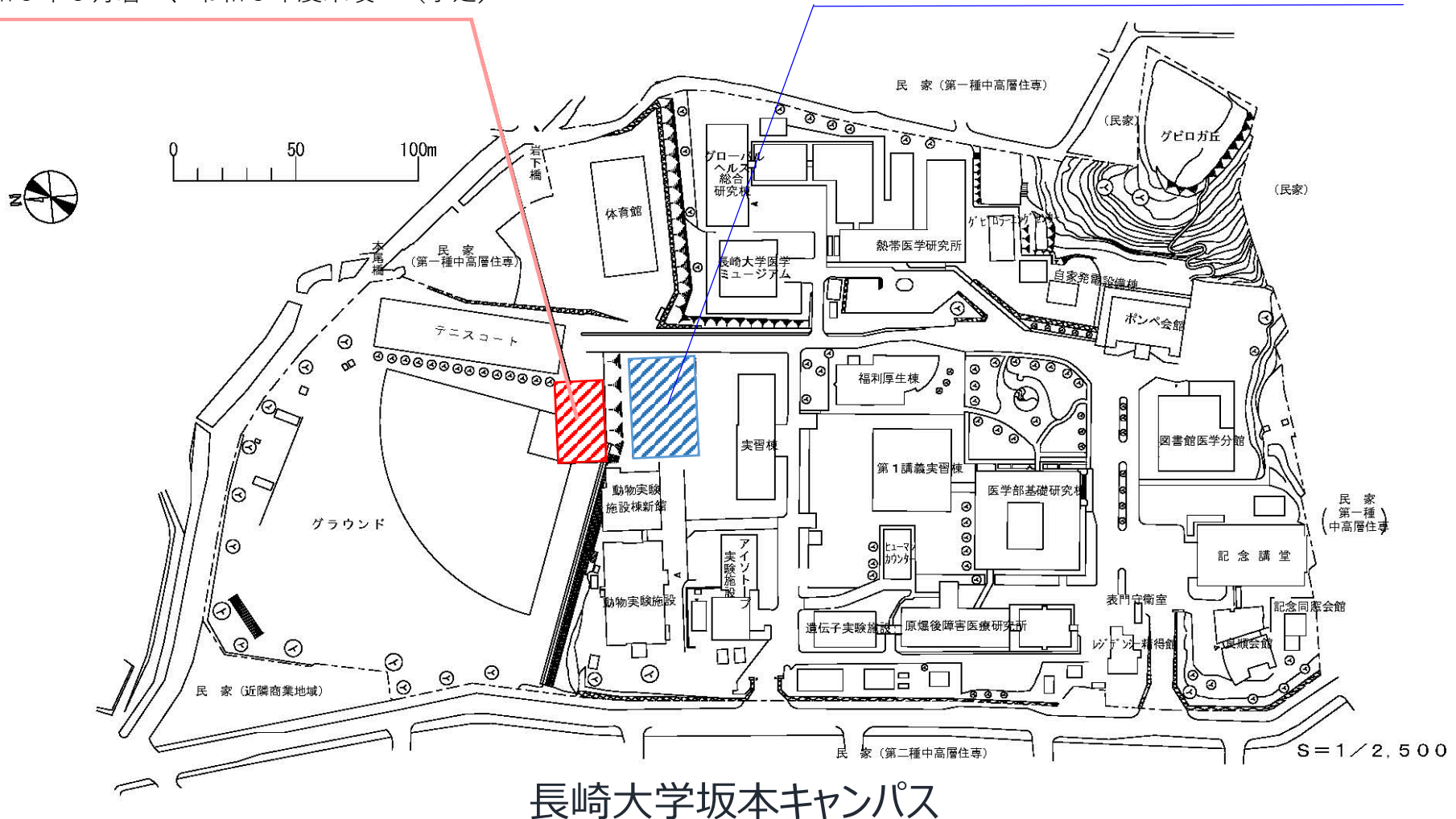
・ 7階建て、約3600㎡

令和3年3月着工、令和3年度末竣工（予定）

実験棟(BSL-4施設)：BSL-4病原体を扱える施設

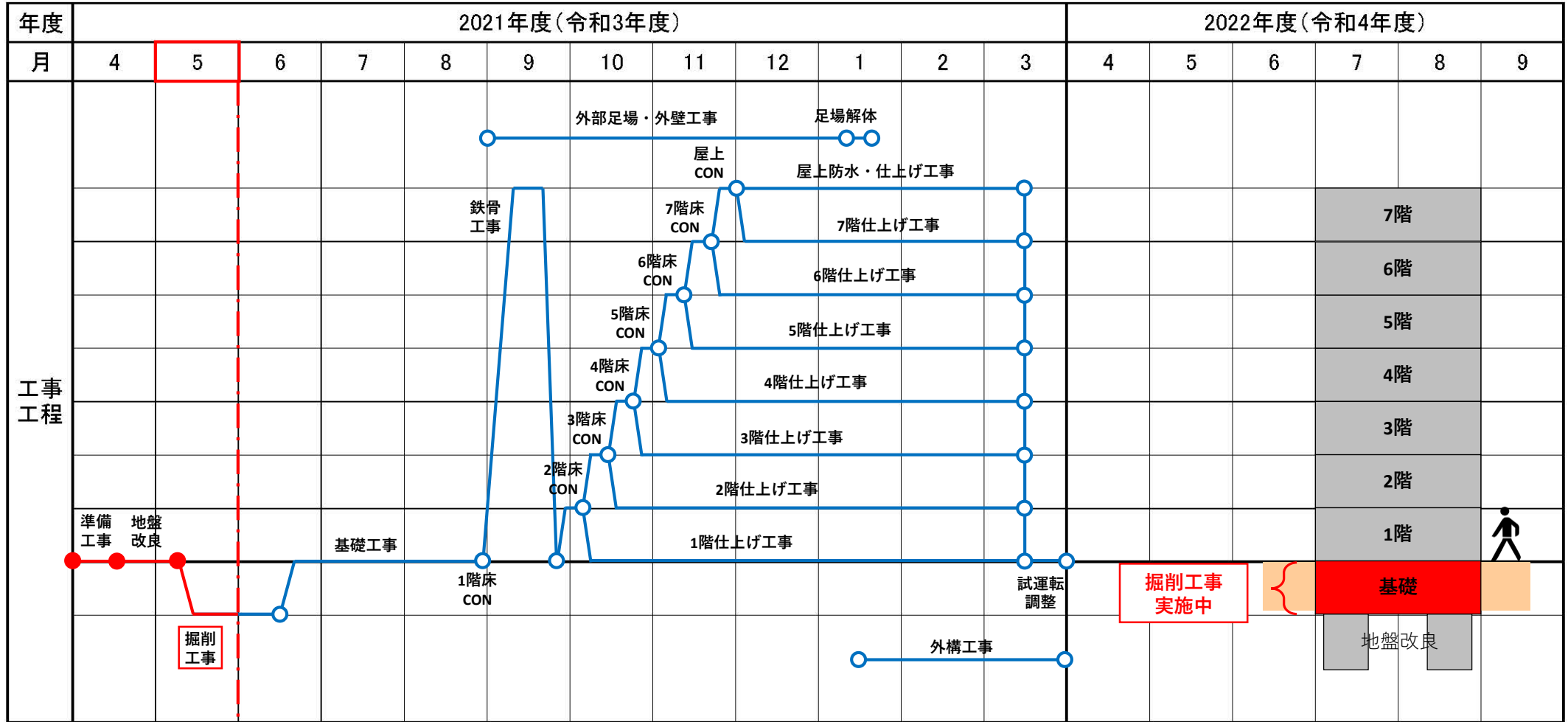
・ 5階建て、約5200㎡

令和3年7月末竣工（予定）



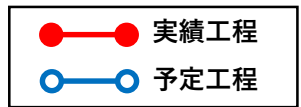
長崎大学坂本キャンパス

感染症共同研究拠点研究棟工事スケジュール（令和3年5月現在）



【鉄骨造建物の工事の流れ】

- ・ 建物を支えるための基礎（鉄筋コンクリート造）を作る。
- ・ 建物の骨組みとなる鉄骨を建てる。（最上階まで）
- ・ 下階から順番に床のコンクリートを打設する。
- ・ 鉄骨に外壁パネルを設置する。
- ・ 上階の床コンクリート打設が完了した階から仕上げ工事を行う。



【備考】

- 地盤改良：セメント系固化材と土を攪拌し、地中に建物を支えるための柱状の改良体を作る工事
- 階床CON：○階の床のコンクリート工事
- 仕上げ工事：各階の内装工事（ボード張りや塗装など）及び設備工事（電気設備、空調設備など）
- 外構工事：建物の外回りの工事（舗装など）



施工状況全景 (5/19撮影)



施工状況全景 (5/19撮影)



工所用仮囲設置状況 (5/19撮影)



工所用ゲート設置状況 (5/19撮影)



地盤改良工事施工状況 (4/23)

令和2年度「長崎大学のBSL4施設を中核とする感染症研究拠点の形成に係る経費」の実績について

1. 全体予算額

●BSL4施設を中核とする感染症研究拠点の形成に係る予算額：約47億3千万円

①医療研究開発推進事業費補助金：1,390,000（千円）

②国立大学法人等施設整備費補助金：2,106,318（千円）

【令和元年度からの繰越額（約4.6億円）を含む】

③国立大学法人先端研究等施設整備費補助金：990,607（千円）

【令和元年度からの繰越額（約8.2億円）を含み、令和3年度への繰越額（約9.3億円）を除く】

④国立大学法人運営費交付金：244,711（千円）

2. 令和2年度の実績

①医療研究開発推進事業費補助金（新興・再興感染症研究基盤創生事業）

（実績（支出項目等））

（単位：千円）

人件費	7,087
研究経費 （内訳）	92,913
・工具機器・備品費（17,894千円） →核酸自動抽出装置、生化学分析装置等	
・業務委託費（29,503千円） →分担機関への研究委託費等	
・消耗品費（31,069千円） →研究で用いる器具、試料、試薬等	
・職員旅費（504千円） →国内出張旅費	
・賃借料（2,685千円） →学内研究室の賃借料	
・その他（11,258千円） →大学全体経費への拠出分、修繕費、雑役務費等	
施設整備費	1,290,000
合計	1,390,000

②国立大学法人等施設整備費補助金

（実績（支出項目等））

（単位：千円）

施設整備費	2,106,318
-------	-----------

③国立大学法人先端研究等施設整備費補助金

(実績 (支出項目等))

(単位：千円)

工具機器・備品費 →研究機器 (高圧蒸気滅菌器、イメージングフローサイトメーターシステム、共焦点レーザー顕微鏡システム等)	990,607
------------------------------------------------------------------	---------

④国立大学法人運営費交付金

(実績 (支出項目等))

(単位：千円)

人件費	158,382
運営・研究経費 (内訳) <ul style="list-style-type: none"> ・ 工具機器・備品費 (33,376 千円) →研究機器 (エアロゾルフォトメーター、CO2 インキュベーター等) 等 ・ 業務委託費 (7,666 千円) →弁護士費用、テープ起こし、ポスティング業務等 ・ 消耗品費 (25,249 千円) →事務機器 (棚、椅子等)、事務用品 (コピー用紙、文具等) 等 ・ 職員旅費 (1,358 千円) →国内出張旅費 ・ 広告宣伝費 (2,704 千円) →各種パンフレット・ポスター・チラシ印刷等 ・ 報酬謝金費 (3,749 千円) →諸会議委員の謝金等 ・ 印刷製本費 (1,875 千円) →複写機 (プリンター) リース料等 ・ 建物付属設備 (2,420 千円) →実験棟電源等増設 ・ その他 (7,932 千円) →光熱水料、修繕費、通信運搬費等 	86,329
合計	244,711

◎人件費は、教職員の業務実態等に応じ、医療研究開発推進事業費補助金 (新興・再興感染症研究基盤創生事業)、運営費交付金のそれぞれ又は双方から支出。感染症共同研究拠点教職員のうち延 32 名の人件費の総計。

長崎大学高度安全実験施設に係る監理委員会について

○委員会の目的

「長崎大学の高度安全実験施設(BSL4施設)整備に係る国の関与について」(平成28年11月17日関係閣僚会議決定)に基づき、長崎大学における高度安全実験施設(BSL4施設)の整備に当たり、大学が実施する安全性の確保と住民の理解などに向けた取組について第三者の立場からチェックすることを目的とする。

○構成員

寛 淳夫	工学院大学建築学部教授
春日 文子	国立環境研究所特任フェロー
加藤 信介	東京大学生産技術研究所教授
河本 志朗	日本大学危機管理学部教授
小松原 明哲	早稲田大学理工学術院教授
◎笹川 千尋	千葉大学真菌医学研究センター所長
平尾 覚	西村あさひ法律事務所弁護士
平川 秀幸	大阪大学コミュニケーション・デザインセンター教授
堀 賢	順天堂大学大学院医学研究科教授

◎主査

○第9回監理委員会(令和3年3月5日)

■議題

- (1)感染症共同研究拠点実験棟(BSL-4施設)建設工事の状況について
- (2)安全確保の方策等に関する検討状況等について
- (3)地域における理解促進に向けた取組について
- (4)その他

■委員の主な御意見

- ・BSL4施設内で研究を実施する上で決められた手順を省略するなど、事故に至らないもののルール違反をしてしまった研究者に対する再教育について、プロセスや手順を明確に定めるべき。
- ・地域住民の要望書を拝見し、このような形で住民の声を聴かせていただく事が出来て大変よい機会だった。住民の理解に向けての活動を引き続きお願いしたい。
- ・地域連絡協議会において住民向けの安全管理マニュアルや事故発生時のマニュアルを作成してほしいという意見もあるため、それらの対応を検討すべき。
- ・実験室の入出や病原体を保管庫から取り出す際など、その都度記録するといった一つ一つのステップを丁寧に進めることが重要。

※これまでの監理委員会における配布資料及び議事録は文部科学省HPにて公開しております。

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shinkou/046/index.htm